

実はもうやっている？
だれでもできる！

個別最適な学びと協働的な
学びの一体的な充実

～家庭科編～



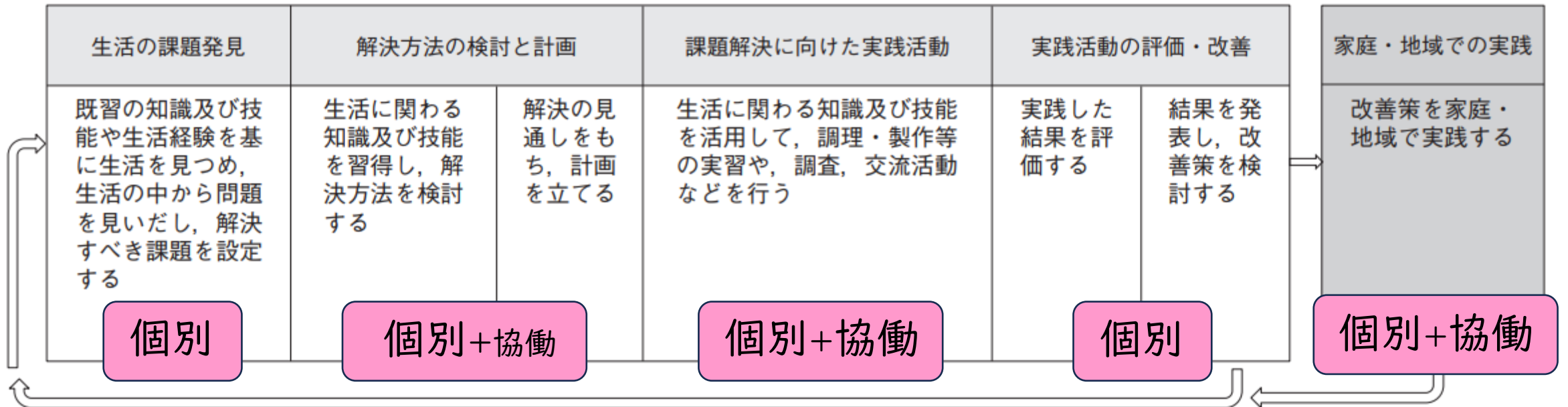
東葛飾教育事務所

(家庭分野) 三つの内容

「家庭・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」

家庭、地域から社会の中で生かし、社会を生き抜く力へ

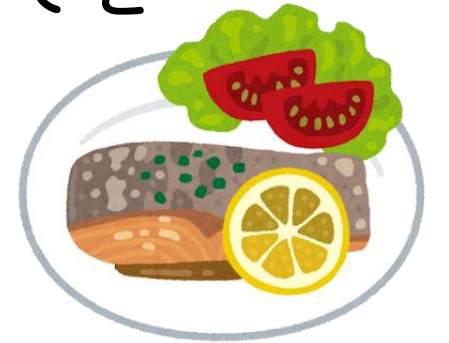
家庭科, 技術・家庭科 (家庭分野) の学習過程の参考例



※上記に示す各学習過程は例示であり、上例に限定されるものではないこと

例えば 「こんだてを工夫して」の単元なら

【学習問題】 どのようなことに気を付けてこんだてを立てればよいだろうか



はじめは、一斉指導でOK

めあてとゴール、学習活動に関する情報を共有する

- ・自分で1食分の献立を立てる
- ・一品を選び調理をする
- ・みんなに紹介する場面がある
- ・調理時間の確認
- ・調理方法の確認
- ・誰のために作る

献立の決定と調理の計画

どんなこんだてにしよう?



調理の手順は?

(個別)

- これまでの学習から
- ICTや本を使って

(協働的な学び)

- 家族、栄養士さん
- 地域の人、お店の商品
- 友達との情報交換

調理・実食

(個別)

- 一人一調理

(協働的な学び)

- 友達と調理を見せ合う
- 友達の調理を真似する
- 実食の感想、調理の感想を伝え合う

(個別)

- 自分の調理を振り返る

栄養のバランスは?

色どりは?
食感は?



個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ポイントはここ！

- ・児童生徒が、自分の考えや思いを持つ場面があったか
- ・自分の思いを実現する場面はあったか
- ・いきいきと活動したり、学び合う場面はあったか
- ・実践活動の振り返りを行う場面があったか
- ・振り返りが、現状の見直しや達成感につながったか



児童生徒の力を信じ、支援を必要とされるまで見守る
そんな時間を一緒に増やしていきませんか